



梅二小だより

令和8年6月2日

No.3

校長 石川 雅章

<http://www.adachi.ed.jp/adauni/>

お子さんの成長を共有しましょう

校長 石川 雅章

先日行われた運動会では、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、子供たちへ温かいご声援を賜り、誠にありがとうございました。

私は5月の全校朝会で、子供たちに「運動会は、当日の結果だけでなく、それまでの過程が大切です。難しい演技・競技でもチャレンジすること、頑張って努力すること、そして友達と協力すること、勝っても負けても頑張ったよねと思える運動会にしましょう。」と話しました。果たして運動会当日はどうだったでしょうか。子供たちは、これまでの練習の成果を発揮し、本番で一人一人が力いっぱい取り組む姿を見せてくれました。演技や競技だけでなく、高学年の係活動（応援団、放送、準備など）の活躍も大変立派でした。子供たちは、朝や休み時間にも練習を重ね、運動会を盛り上げようと準備してきました。当日もきびきびとそれぞれの役割を果たしていました。私は、そんな子供たちの姿を見ながら「責任感をもってよく動くことができる高学年だな、誰かのために力を尽くすことのできる素晴らしい子供たちが育っているな」ということを強く感じました。転んでも最後まで走り切る姿、友達を気遣う姿、応援したり、励ましたりする姿など、多くの場面で見られた子供たちの優しさやたくましさにも大変感心しました。練習や本番を通して得た経験は、子供たちを大きく成長させてくれたことと思います。この運動会で培った力を、これからの学校生活にも生かし、さらに自分らしく成長して行ってほしいと願っています。そのために、学校でも子供たち一人一人の頑張りを認め、励ましながら支援してまいります。

また、6月は学校公開があります。保護者の皆様にお子さんの学校での様子（授業態度や友達とのかかわり方、休み時間に何をしているかなど）、成長ぶりを見ていただきたいです。そして、頑張ったところ、よいと思ったところをご家庭で大いに褒めてください。よくないと思えばどうするとよいか、どうしてほしいかをこれからの課題として話してあげてください。お子さんの学校での様子を見ていただく機会は多くありませんので、ぜひ、学校公開の機会を生かしていただきますようよろしくお願いいたします。

～ 6月「ふれあい月間」について ～

6月は、いじめ防止、人との関わり方や思いやりについて考える取組を行います。学校には、さまざまな子供たちがいて、みんな違いがあります。得意なことや苦手なことの違い、考え方や感じ方の違い、身体的な特徴の違い、それぞれが個性です。自分との違いに対して、その違いをからかったり、傷つけたりするのはなく、「そういう考え方もあるのだな」「自分とは違うところがあるのだな」と受け止めることが大切です。それは簡単なことではないのですが、互いの違いを認め合える、安心できる学級や学校をつくるよう教職員一同努めてまいります。

今後とも引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。